Ⅲ　就職活動の進め方

２．就職志望先の絞り込み

在学中に学習した内容、修得した知識が最大限に発揮できる職場環境や卒後教育システム、担当職務内容等について十分検討のうえ、就職志望先の特定を進めて下さい。

１）　自分自身を良く理解し、客観的に評価する

自分自身を評価する方法として、学生担当教員・看護総合演習／看護卒業論文指導教員などのアドバイスを受ける。または、友人に評価してもらうことも考えて下さい。

２）　施設の概要、勤務先等を確認する

ハード面とソフト面がいかにシステム化されているかということは、とても重要な検討課題です。また、勤務地及び勤務部署が就職直前に決定する施設もあるので、予め勤務地及び勤務部署を確認することも重要です。

ハード面

設立年月日・経営母体・理念・診療科目・病床数・職員数・勤務地・担当地域・住民数など

ソフト面

卒後教育システム・勤務形態・業務内容・福利厚生制度・待遇など

先輩方の体験談です。
進路相談室にあります。

３）志望先の情報を広く詳細に収集する

○進路相談室の求人ファイル　　○就職・進学試験情報報告書

○就職関連情報誌　　○各種セミナーへの参加

○施設見学会の情報　　○教員からの情報

○病院名簿・病院要覧　　○インターネットの活用

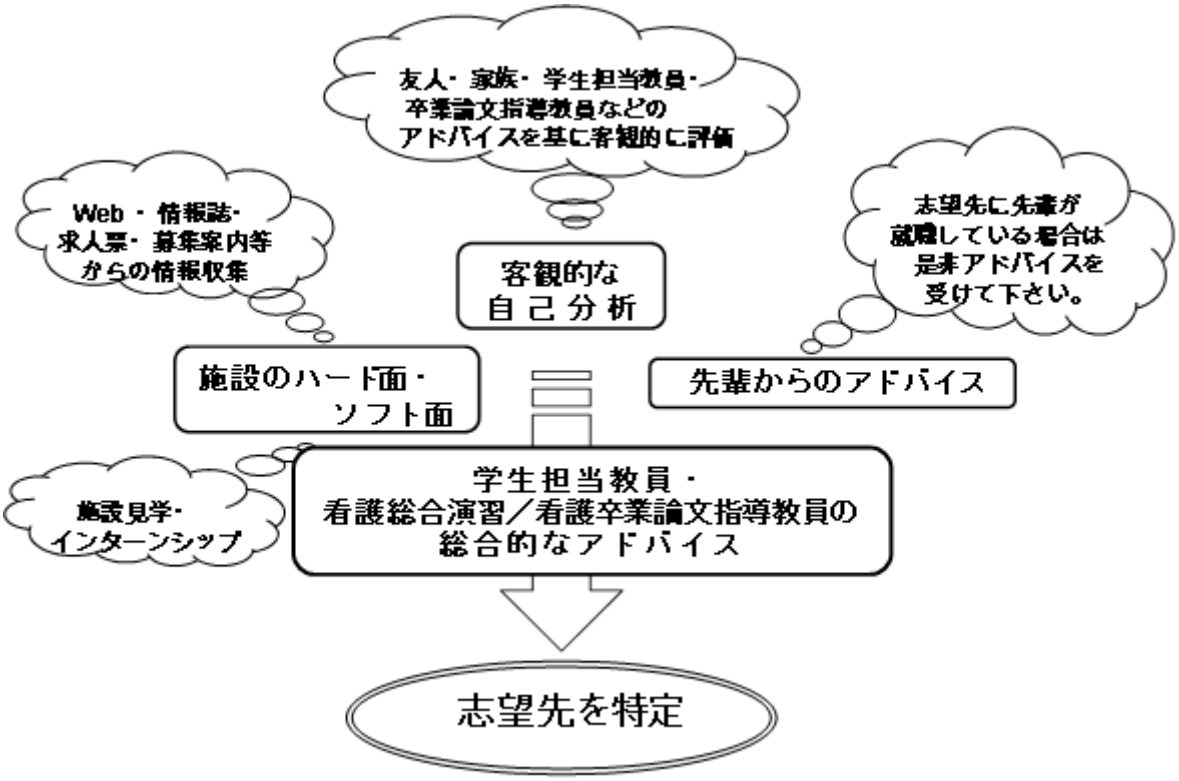
４）志望先が確定したら、志望先に対し「求人に関する資料」を請求する

・資料の請求は、通常文書にて行う

・請求する場合、事前に電話で資料請求の方法を確認すると効率的

（切手を貼った返信用封筒を同封することが望ましい）

・資料が届いた時は、お礼の連絡も忘れずに行う

・資料の中で疑問点や質問事項がある場合は、その都度直接確認し、疑問点を解消するようにしましょう

5）志望先の情報を多角的に整理・分析する